

学校だより

令和3年 4月号

<教育目標>自分のよさを発揮し、人と支え合い、高め合う子ども 大阪狭山市立第七小学校



自己肯定感を高め、思いやりにあふれる子どもの育成



♪ぞうさん ぞうさん おはながながいのね そうよ かあさんも ながいのよ

♪ぞうさん ぞうさん だあれがすきな の あかね かあさんが すきな のよ



これは、みんなが知っている「ぞうさんの歌」です。作詞家のまどみちおさんは、この歌にどのような思いを込められたのでしょうか。

ぞうさんに「おはながながいのね」と言っているのは、ぞうさんと同じ森に住む動物でしょう。動物たちはぞうさんの鼻が長いことをからかい、笑っているのです。しかし、ぞうさんは、まったくそんなことを気にする様子もなく「そうよ、かあさんもながいのよ」ときっぱりと返します。続いて森の動物たちは「ぞうさんはだれがすきな の？」との問いかけに、「あかね、かあさんがすきな のよ」と返します。このぞうさんの言葉には、大好きな母親のもとで育った自分に誇りを持ち、しっかりと生き抜いている強さを感じます。

先日、『自己肯定感』の生みの親と言われる高垣忠一郎氏の講演会に参加させていただき、『自己肯定感』とは、「ダメなところがあっても、自分が自分であって大丈夫」と自分を肯定する感覚のことだと教えていただきました。

令和3年度、474名の児童とスタートを切るにあたり、「子どもたちのありのままの姿を受け入れよう。正しい、間違っている物差しで子どもをみるのではなく、子どもたちが健気に生きている姿そのものに寄り添おう。」と私から教職員に話しました。

何よりも子どもたちの心に寄り添い、『自己肯定感』を高めながら『思いやり』にあふれる子どもの育成に全教職員で取り組んでまいります。そのような理念のもと、今年度も昨年度同様、学校教育目標を以下のように据えました。

『自分のよさを発揮し、人と支え合い、高め合う子ども』

〇めざす子ども像

- ・自分の考えを豊かに表現し、友達とよりよく交流する子
- ・人と関わり、人の良さを見つけ、自分と同じように相手を大切にする子
- ・体を動かすことの楽しさを感じ、運動に励む子
- ・自分の学びを、地域社会に活かそうとする子

保護者の皆さま、地域の皆さまには、今年度も本校の教育にご支援、ご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願い致します。

校長 泉谷 一